

Circles and Individuals（輪と個）

オリジナル設計株式会社／東日本営業部営業五課／秋田事務所 北村駿太



1. はじめに

私は大学卒業後の6年間、建設機械メーカーの営業職として従事したのち、2021年10月にオリジナル設計株式会社に営業職として入社しました。異業種からの転職ということもあり、当然分からない事も多く、知識を身に着けるため日々精進しております。少しずつではありますが、担当している業務に慣れてきたと感じております。

仕事の内容に関して記載することは恐れ多いので、私が続けている趣味であるサッカーとゴルフについて書きたいと思います。

2. それぞれの魅力

(1) サッカーの魅力

サッカーは私が小学4年生のころ、日韓ワールドカップに魅了されてから一番長く取り組んでいるスポーツです。20年間にわたる経験を通じてさまざまな魅力を発見しました。まず、サッカーはチームワークが重要です。仲間たちと協力し、連携を図ることで勝利を目指します。それぞれの役割とポジションが組み合わさり、息の合ったチームプレイが実現する瞬間は、まさにイメージが共有できていると感じることができます。

さらに、サッカーはスピードとスキルを要求するスポ

ーツです。ボールを操り、相手をかまし、ゴールを目指す瞬間は、感動的で興奮するものです。スピードと正確性が合わさったプレーは、見る者を魅了し、自分自身も高揚感に包まれます。

サッカーを通じて多くの経験もすることができました。一番記憶として残っているのは、二十歳そこそこでまだ体が動くころに出場した「全国ビーチサッカー大会 in 岡山」です。メジャースポーツではなく出場チーム数が少なかったことと、運も重なり東北代表として全国大会に出場することができました。ビーチサッカーとは1チーム5人の選手たちが、縦37メートル×横28メートルの砂のコートを、はだして駆け回ります。岡山の砂質が東北と全く違い、痛かった記憶があります（大会後は足の裏にテーピングを巻いて帰りました）。そして大会自体は、4チーム総当たりのグループ予選が行われ、上位1チームが決勝トーナメントに進むというものでした。対戦したチームの中に、過去の優勝チームがいて、2-21という人生最大の敗戦をしました。そのチームは現ビーチサッカー日本代表選手兼監督である、茂怜羅オズ選手（2019年ビーチサッカーW杯MVP）含め、当時の日本代表が4人所属するチームだったのです。ほぼ日本代表と対戦したようなもので、「こりゃかなわん」と感じたのも今となっては良い思い出です。



写真-1 当時の大会公告 引用元：JFA.jp



写真-2 足裏が熱くて交代するところ（秋田県予選）中央左

(2) ゴルフの魅力

ゴルフは以前勤めていた職場で、「接待もあるので始めたほうがいいよ」と上司に勧められはじめました。最初はボールに当たらないところからのスタートでしたが、こんなにのめり込むとは思いませんでした。ゴルフは個々の技術や戦略が重要となるスポーツだと思います。コースを回りながら、正確なショットや戦略的なクラブ選択を行うことが求められます。

ゴルフの魅力の一つは、静かな環境でのプレーです。美しい風景に囲まれながら、自然と一体化する感覚は、心地よいリラックス効果を得られると感じています。また、ゴルフは繊細なスポーツでもあります。ボールを正確にコースに送り込むためには、テクニックやコントロールが欠かせません。その繊細さと正確性に挑戦することで、自分自身を成長させる喜びを感じることが出来ます。その分、ひたすら自分と向き合い、失敗しても言い訳のできないスポーツでもあると日々実感しております。

さらに、ゴルフは他のプレイヤーとの交流も楽しめるスポーツです。コース上で他のゴルファーとの会話や競争を通じて、新たな友人やビジネスのつながりを築くことができると感じています。そしてゴルフは人との繋がりを深める場でもあります。実際に入社して半年ほどで社内のゴルフコンペに参加させていただき、それまでお会いする機会がなかった諸先輩方と交流を深めることができました。



写真-3 ゴルフ場でのベストショット

(3) 共通点と違い

サッカーとゴルフにはいくつかの共通点があります。まず、集中力と精神的な強さが求められることです。どちらのスポーツも緊張感があり、ミスを恐れずにプレーに集中する必要があります。また、自己管理と忍耐力も必要です。ゴルフでは自分自身を律し、サッカーでは長時間の試合において集中力を保ち続けることが求められます。

一方で、二つのスポーツには明確な違いもあります。最も顕著な違いは、個人vsチームの要素です。サッカーはチームスポーツであり、連携や戦術が重視されます。それとは対照的にゴルフは個人競技であり、自分自身との戦いになります。ゴルフでは、いかに自分自身と向き会えるかがスコアアップのポイントだと感じています。

また、身体的要素も異なります。サッカーは激しい運動量と瞬間的な判断力が求められますが、ゴルフは正確な技術とコントロールが重視されます。サッカーはスピードとアクションの連続ですが、ゴルフは正確なスイングと戦略的なアプローチが鍵となります。静と動であり、ある意味真逆のスポーツだと思います。

3. おわりに

サッカーとゴルフは、どちらも私にとって魅力的なスポーツであり、それぞれの魅力を享受してきました。サッカーはチームワークや競争心を刺激し、ゴルフは精密さとリラックス感を与えてくれます。どちらのスポーツも笑いとユーモアが溢れ、失敗やミスを受け入れながらも楽しむことが大切だと思います。サッカーとゴルフには共通点もありますが、個々の特性や魅力も異なります。それぞれのスポーツを楽しむためには、それぞれの魅力を理解し、それぞれの魅力に集中することが重要であると思います。

そしてこれらは、ビジネスのシーンでも共通する部分があるのではないかと感じています。プロジェクトを成功させるためには、チームワーク（輪）が重要となり、時には競争心を刺激することで良い結果を生むかもしれません。また、自分自身と向き合い個人の力を磨くこと（個）でチーム力向上にも貢献できるのではないかと思います。

笑いとユーモアを持ち、失敗やミスを受け入れながら、仕事も趣味もフルスイングで取り組んでいけたら良いと考えています。

会員寄稿

水インフラとコンサルタント、 メタ認知

株式会社日水コン/コンサルティング本部/
下水道事業部/事業部長

小南太郎



1. はじめに

水インフラは概成を迎えつつあり、PDCAサイクルでいえばCheck（評価）に入る段階といえます。社会情勢等が複雑で不安定な現状ではこのCheckが非常に大事だと考えます。社内の話で恐縮なのですが、私の所属する事業部の今期スローガンが「自分に問う」です。これには立ち止まって、問題点の把握や振り返りをするという視点も含まれているはずですが（無理やりでしょうか）。ここでは、次なるAction（改善）に向けて、水インフラと自身について振り返ってみました。

2. これからはオーダーメイド

AIの進化・普及によって人が担う作業範囲が変わるといったことを耳にします。chat GPTのような対話型のモデルも出てきました。例えば図面が秒単位で書けると当該作業の対価はかなり下がることでしょう。コンサルタントの技術とは何か、考えさせられます。

一方、概成を迎えつつある水インフラは、災害対策をはじめ、様々な課題を有しています。そして、その度合いは各団体様々であり、また課題に対する施策の多くは相互に関連することに加え、各団体の経済性・効率性・即効性も考慮する必要があります。時間軸も踏まえると非常に複雑です。

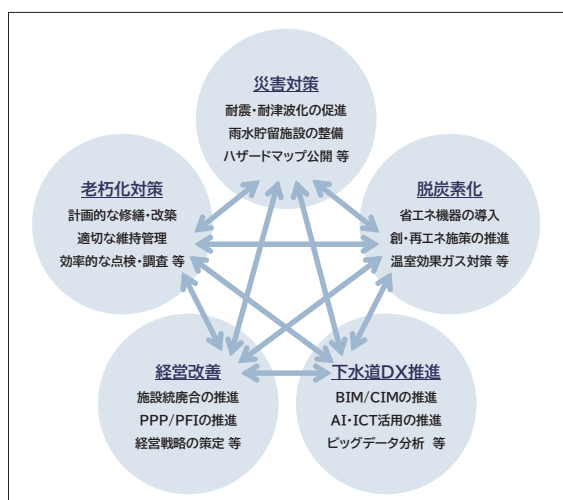


図-1 水インフラの代表的な課題とその関連イメージ

今後は全体を俯瞰した視点が求められるため、地域の実情に応じたオーダーメイド型のコンサルタントが重要になると考えます。

3. アートシンキングを手に入れたい

水インフラの普及促進が最重要テーマであった頃は、指針やマニュアル等（モデル化）が大きな役割を担っていました。一方、今後の改築更新や性能設計等では過去の指針やマニュアルだけでは対応できないケースも出てきそうです。示されている数値の背景や根拠を理解し、これからの状況に即した提案が重要ですが、それはAIではなく、人が担う役割と考えます。

地域の実情や課題を踏まえた対応、指針やマニュアル等に示されていない技術的検討は容易ではありませんが、コンサルタントとして避けてはいけない問題です。当社では、下水道展2019で“アート下水道”をテーマにコンサルタントとしての考えを発表しました。アート下水道は、新たなアイデアや独創的な考えを生み出す手法「アートシンキング」から作った造語です。我々は、“社会に新たな価値を創造するため、右脳（感性）と左脳（論理）を融合させ、既成概念に捉われず、創造力を持って感性豊かに考えること”と定義付けしています。コンサルタントとして、将来に向けてアートシンキングを手に入れたいとの思いからテーマにしたのですが、今も社内の部活動（現代芸術部）として継続しています。

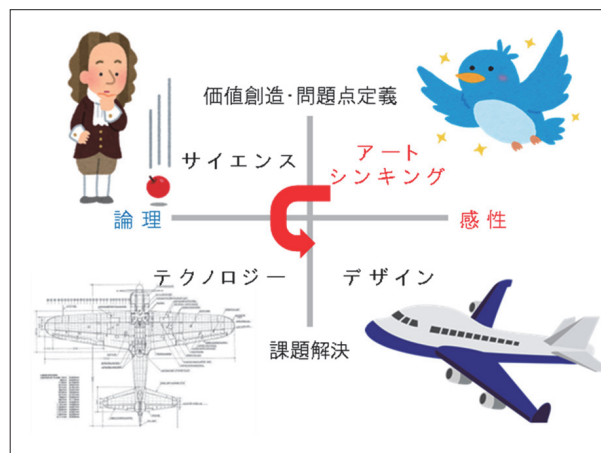


図-2 アートシンキングのイメージ

3. 自身の振り返り

何にでも興味を持つ、広く・浅いタイプですが、長期にわたり継続している趣味がいくつかあります。それらは今の自分を形成している大きな要素なのではないか。そう考え、今更ながら振り返ってみました。

(1) 競馬

競馬の面白さは人それぞれ、数多くあると思いますが、私の場合は2つに集約されます。1つ目は、自身で立てた仮説→検証を繰り返すこと。現地では約30分の間隔でレースが繰り返されます。検証結果の振り返りもあるので天手古舞です。2つ目は、仮説を馬券という形で表すのですが、その度合い（レート）を自身で選べることです。大げさにいえば、己をどれだけ信じられるか、自問自答しながら取り組んでいることといえます。因みに私が仮説を立てるのに重視しているのは、レース展開とパドック（下見所）等の気配です。過去の成績やトラックバイアスを分析することも楽しい作業ですね。

音楽はその時代を思い出すと言いますが、競馬はその日・その時を思い出すということも付しておきます。

(2) 麻雀

麻雀に必要なものは、構成力・分析力・観察力・確率・感性あたりでしょうか。学生の頃は勝ちたい一心で、必勝本や解説本を読み漁り、日々打ち込みました。おかげ(?)で少しは上達したのですが、そうすると次はオリジナルの打ち方を模索するようになりました。

麻雀の面白さもいくつかあります。1つは、一枚牌を自摸る（持ってくる）度に決断が求められ、その責任者は自分でしかないことです。不要な牌を切るのは自分の判断ですので、自分なりに責任を持って対峙しています(笑)。その他、麻雀の打ち方をみるとその人の性格が分かるのも面白さの一つですね。

先に述べたオリジナルの打ち方は年々変化していますが、自身が大事にしていること（笑われそうなので内容は伏せておきます）はブレないように意識しています。自身が決めたことが実行できない時は、心が揺れるのも分かります。振り返ると、麻雀は私の人格形成に大きく寄与してきました。一生続けたいと考えています。

(3) 映画鑑賞

映画鑑賞では、表現力や企画力、そして伝え方に面白さを感じます。表現力に含まれますが、作品中に流れる音楽も重視しています。作品全体のイメージやシーンの空気を作ったりする重要なファクターです。

自分の好きなジャンルは何だろう?と考えると、どのジャンルと言い切れない作品が好みだと気づきました。最近観た中ではエブリシング・エブリウェア・オール・

アット・ワンス。ネタバレになるので内容には触れませんが、序盤は??の嵐、一気に回収される中盤以降は圧巻。監督・脚本家の頭の中を覗きたいです。賛否両論の映画ですが、機会があれば是非鑑賞下さい。

4. おわりに

徒然なるままに、昨今の水インフラを取り巻く環境や趣味を切り口に自分の考えを振り返りました。継続している趣味は、コンサルタントとしての考え方にも少なからず影響しているようです。

何事も本質を極めると同じ世界が見えてくる、というのが持論ですが（凡人の私には見えませんが、常に意識しています）、裏を返せばどんなことでも意図をもって取り組めばよい、ということになります。新しい何かに挑戦するためのPlan（計画）を考えてみたいと思う今日の頃です。

最後に－今年も下水道展に出展するので少しだけPRさせて下さい。当社ブースでは従前から来場者が企画に関わって頂くことで作品が完成する参加型企画なるものを催しています。企画では様々な言葉を集めているのですが、そのテーマは「日常であり意識しないことを考える機会にして欲しい」ということがコンセプトです。集まった言葉は、個々の思いが言語化されているので、下水道展終了後に体系化・分類化し、共有しています。貰うばかりでお返しが出来ないのが課題なのですが、今回も同様の企画を用意します。下水道展にお越しの際は、是非当社ブースにお立ち寄り参加下さい。

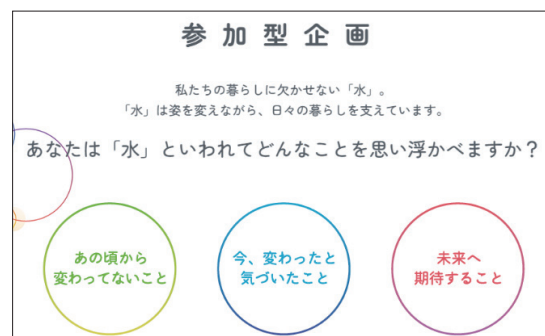


図-3 参加型企画のテーマ（'22東京）



写真-1 下水道展 参加型企画の様子（'22東京）

海外のお仕事（アフリカ紀行）

株式会社三祐コンサルタンツ／海外事業本部／技術第4部 高崎一憲



1. はじめに

皆さま、はじめまして。株式会社三祐コンサルタンツの海外事業本部に所属する高崎一憲と申します。

時が経つのは早いもので、平成9年に入社して以来、気がつけば人生の半分以上を会社員として過ごしております。入社後は国内事業本部で13年間、諸先輩方から厳しくも愛のある指導を受けましたが、14年目からは海外事業本部に売り飛ばされてしまいました（笑）。その頃、会社が転換期にあったことは理解しておりましたが、思いがけず海外の業務に携わることになり不安でいっぱいでした。学生時代は英語が最も苦手だったこともあり、海外旅行には全く興味を持たず、ましてや仕事で海外に行くなんて考えたこともありませんでした。それまでは何気にテレビで見ていた海外の僻地の映像やユニセフの広告が、急に他人事ではなくて真剣に見入っていたことを鮮明に思い出します。

入社してから26年が経過し、ちょうど国内業務と海外業務を半分ずつ経験したことになります。国内業務では主に下水道、海外に異動してからは主に上水道の業務に携わり、国内外・上下水道と広く（浅く？）経験を積み現在に至ります。以下では、海外事業本部に異動してから携わった業務を、思い出や感想と共にいくつか簡単にご紹介させていただきます。

2. アフリカその1（ザンビア）

水コンサルタントとして海外業務に携わるということは、当然発展途上国が多いだろうと覚悟していましたが、まずは近隣のアジア諸国からなんて甘い考えは完全に払拭されました。初の海外業務として派遣されたのはアフリカの南部に位置するザンビアという国でした。子供のために買った地球儀を見ながら、地球って大きいんだなぁと痛感しました。

このプロジェクトは、ザンビア国の第二の首都と呼ばれているンドラ市の老朽化した給水施設（浄水場及び送水管路）を改修するものでした。特に管路からの漏水がひどい状況で、漏水によってできた水たまりから生活用水を汲む様子を見て衝撃を受けました。今振り返っても、



写真-1 漏水した水を汲む状況

【プロジェクト概要】 無償資金協力
 名称：ンドラ浄水場改善計画
 浄水場：原水ポンプ2基、薬品注入設備一式、
 水質分析機材一式、他
 管路：ダクタイル鋳鉄管φ150～φ800 L=9.8km、
 鋼管φ100 L=3.1km



写真-2 生で見る孔雀

これまで経験してきた現場の中で、この国の水利用状況が最も過酷であった気がします。

「ん」から始まる地名があることや、ホテル内を孔雀が悠々自適に歩いている姿にも衝撃を受けました。食事面では、最近では栄養価が高いことから見直されている昆虫食を提供するお店がありましたが、初心者の中にはハ

ードルが高く食すことができませんでした。

温室育ちの私にとっては、それまでの人生を覆されるような衝撃的な出会いばかりでした。

この時の経験が、今でも業務渡航で海外生活する上での指標となっています。

3. アフリカその2 (トーゴ)

ザンビアの次に派遣されたのは、西アフリカ諸国のうちの1つであるトーゴ共和国でした。

トーゴ国は、財政難に加え、1993年以降の政治的混乱や民主化の行き詰まっていた。その結果、村落部及び準都市部では平均給水率が約43% (2010年時点) と低く早急に改善が必要な状況でした。その中でも、援助要請のあった地域の給水率は、村落部で15~19%、準都市部で10~24%と全国平均を大きく下回っており、大部分の住民は非衛生的な水源 (手掘り井戸、浅井戸等) の使用を強いられて、水因性疾患が多く、安全かつ十分な飲



写真-3 水を運ぶ子供達



写真-4 完成した共同水栓

【プロジェクト概要】 無償資金協力
名称：マリタイム及びサバナ地域村落給水計画
井戸：新設100箇所、改修50箇所
給水施設 (井戸、高架水槽、管路、共同水栓)：10村

料水の確保が喫緊の課題となっていました。

いつかテレビで見たことのある、茅や藁を使った屋根の家屋が目前に存在し、子供たちが元気に水を運んでいました。それに比べて、私は家では子供を甘やかしすぎたのか、お茶やら醤油やらを取ってきてと顎で使われる始末です。本プロジェクトにおいて給水施設を設置した村では、共同使用する水栓が村に数か所設置されたことにより、水汲みに要する時間が短縮されて、児童や女性の就学率・就労率の向上に貢献することができました。

4. アフリカその3 (エジプト、ルワンダ、ニジェール)

標記の3か国の業務は、上下水道とは関連がありませんでしたが、国内で培った知識と経験を活かせる担当業務を与えてもらいました。

エジプトは、他アフリカ諸国と比べて、古代文明の発祥地として独自の文化と歴史を持ち経済的に発展しています。観光大国であり魅力的な場所・モノに溢れており、私は業務の傍らでスフィンクスやピラミッドを拝むことが出来ました。ピラミッドはどうやって作られたのだから



写真-5 ギザのピラミッド



写真-6 「お魚ゲットしたよ」

う、と下から眺めながら考えてみましたが、想像を絶するマンパワーが働いたんだらうな、と月並みの答えしか思い浮かびませんでした。

ルワンダは、中央アフリカに位置しています。丘陵地にきれいな家屋が立ち並び、環境意識が高く週に一度の清掃活動が行われていますので、街中の景色はとてもきれいだったと記憶しています。

ニジェールは西アフリカの国であり、無償資金協力の機材供与案件に従事した際に滞在了ました。外務省の海外安全情報によると、国境付近にテロリストが蔓延っており、滞在する首都ニアメーは業務以外の渡航に対して中止勧告が出ていたため、緊張感をもって業務にあたりました。

しかしながら、現地では危険な雰囲気は感じられず、対照的に人々は温厚であり、関係者の方たちも大変人が良く熱心な方たちばかりでした。世界的にコロナウイルスが蔓延した影響を受けて、プロジェクトが大きく遅れることになりましたが、ニジェール側の理解と協力を受けて、この秋ようやく事業完了に至ります。現地ではとても親切にしてもらい、平和な日々を過ごすことができました。このプロジェクトをきっかけに、このように地道に一生懸命、毎日力強く生きている方たちに対して、少しでも何か貢献したいという思いが芽生えました。

5. アフリカその4 (ベナン)

ベナンはトーゴ国の隣国です。この頃には、西アフリカ3か国目とあって少々こなれ感が出てきました。西アフリカ諸国の使用通貨はCFAで共通しており、円貨換算を脳内でできるようになりました（ただの暗算ですが、時々間違えます）。

このプロジェクトは、村落部及び都市部の住民に安全な水へのアクセスを確保することを目的として、深井戸を水源とした高架水槽及び送配水管等の給水施設を無償資金協力事業として建設するものであり、2023年現在で



写真-7 既設の高架水槽屋上からの市内の様子

【プロジェクト概要】無償資金協力
名称：クフォ県及びプラトー県における飲料水供給システム強化計画
給水施設：深井戸6箇所、高架水槽6箇所、送配水管一式、中継ポンプ場1箇所、既設高架水槽改修（計5都市）

進行中です。

過去のトーゴ国のプロジェクトを実施した際の通訳（現地傭人）はベナン国出身です。本プロジェクトでも通訳をお願いしており、10年来の付き合いとなります。出会った頃はまだ学生アルバイトだったのですが、今や家庭を持ち一家の大黒柱になっています。そんな彼に対して、私は親戚のおじさんのような気持ちで接しています。他にもトーゴ時代からお付き合いのある方にはお世話になっており、人とのつながりの大切さを実感している今日この頃です。

6. おわりに

取り留めのない内容となってしまいました。当初は全く興味のない海外業務ですが、多種多様な業務と人々に出会い、今では仕事に大きなやりがいを感じるようになりました。これからも、仕事を通じて誰かの何かを少しでも良い方向に変えられるように、頑張っていきたいと思います。

産休・育休～仕事復帰を振り返って

オリジナル設計株式会社／西日本支社／
西日本施設部／施設1課

峰 久子



1. はじめに

私は2011年にオリジナル設計株式会社に技術職として入社し、今年で12年目になります。

出産のため2021年の9月から産休を取得し、育休を経て先日約1年半ぶりに仕事に復帰しました。こんなに長い期間仕事から離れるのは初めてのことで、子供が生まれてから生活も大きく変わりました。

私が勤務する大阪の事務所には、女性の技術職で産休・育休取得して復帰し働いているという方がいなかったため、これから自分の生活がどんな風になるのか、復帰後はどういった働き方ができるのか、産休に入る当時は具体的に想像ができていませんでした。

そして現在、仕事に復帰して約2か月が経ち、育児と仕事の両立を手探りでやり始めたところです。

まだ復帰して間もない状況ではあるのですが、初めてのことだらけの産休・育休を経て、どんなことを感じ、私の働き方がどのように変わったのかお話しさせてもらいたいと思います。

2. 産休に入る前の話

(1) 私の働き方について

はじめに、そもそも私がどういう働き方をしていたのか少しお話をしたいと思います。

私は公共下水道施設の機械設計を担当しています。大学では土木を専攻していたので、入社してから今の分野のことを勉強し始めました。周りの方に沢山サポートしてもらいながら徐々に仕事を任せてもらえるようになり、これまで計画から設計まで様々な業務の担当をしてきました。私が所属する西日本施設部では、北陸～九州・沖縄を主なエリアとして各地方自治体の仕事をしているので、外出や出張も多くありました。過去のスケジュールを見返してみても、本当に日々あちらこちらに行っていたなと思います。仕事の忙しさや大変さを感じることもありましたが、仕事帰りに飲みに行ったり、休みの日は旅行に出かけたりリフレッシュも沢山しながら過ごしてきました。

そのような中、新型コロナが流行し始め、緊急事態宣

言中は毎日出社する日々から完全在宅勤務へ、緊急事態宣言が明けてからも会社の働き方として在宅勤務が可能になりました。私も入社と週に1,2回は在宅勤務をするという働き方になりました。仕事はリモートでの対応も増えてきましたが、ちょうどその頃、技術士の取得に向けて何度目かの試験に臨んでいたこともあり、変わらずバタバタとした生活を送っていました。

(2) 妊娠が分かってから

技術士の試験も無事に終え、繁忙期も乗り越え、日常が落ち着いてきたところに妊娠が分かり、このことをきっかけに働き方について考える必要がでてきました。幸いつわりはほとんどなく体調も比較的安定していて、仕事も落ち着いている時期だったので、しばらくはこれまで通り働いていました。

上司に報告をしてからは、遠方の協議はリモート参加にするなど配慮してもらい、近場以外の外出は基本的になくなりました。在宅勤務も引き続き週に1,2回は活用し、担当していた仕事も新年度の業務になるタイミングで同じ部門の方に担当を引き継いでもらうことになりました。産休に入る時に会社のパソコンも携帯電話も一度返却することになっていたため、これまで私が担当してきた業務の作業状況、データの保存場所などを一覧にまとめ、引き継いでもらう方に状況をお伝えするという方法をとりました。

(3) 妊婦生活で助かったこと

新型コロナをきっかけとして可能になった在宅勤務やリモートでの打ち合わせですが、通勤や外出が減ったことは体力的にも気持ちの面でも楽になって私はとても助かりました。お腹が大きくなってくるにつれて座りっぱなしが辛い時もあり、在宅勤務の時は周りを気にせず楽な体制で仕事のできたのでそれも助かりました。自分自身が妊婦になってから、身体の変化や不調は周囲からは分かりづらく本人も伝えづらいこと、つわりなど体調も人によって様々だということを実感しました。体調が悪いときは無理せず休むことが一番ですが、今後もそれぞれの状況にあわせて在宅勤務などの制度が利用できたらいいなと思います。

業務の引継ぎについては、みなさん快く対応してくださいましたが、仕事復帰後に業務の状況を確認する中で、引継ぎ後の対応で大変だった話もお聞きました。また自分の担当業務にプラスして私からの引継ぎ分になってしまった部分もあり、引継ぎの難しさや大変さも実感しました。ただ、そのおかげでお休み中しっかりと育児に専念することができたので、このような環境を作ってもらえたことはとてもありがたく感じました。

3. 産休・育休中の話

(1) 産休そして出産

産休に入ってからすぐには仕事に行かない毎日に落ち着かないこともありましたが、しばらくするとその生活にも慣れ、里帰り出産のために実家に帰省することになりました。帰省してから出産までの2カ月は、仕事を始めてからこれまでで一番のんびりした生活を送ったので、今振り返るととても貴重な時間だったと思います。

その後無事に娘を出産し、初めての育児にバタバタとした生活が始まりました。出産については周りから話を色々聞いて覚悟していたつもりでしたが、すべてが想像以上で、出産がこんなにも大変で産後の体はこんなにボロボロなんだということを持て知りました。そして、生まれきたわが子はただただ可愛く、出産の疲れも忘れていつまでも見ていられました。

退院後も体の痛みや貧血などが続いていましたが、産後もしばらくは実家にいることにしていたので、家事全般は家族に頼って私は娘のお世話と自分の体の回復に努めることができました。産後の肥立ちが大事といますが、私は産後しばらく日常動作もゆっくりしかできないような状態だったので、周りの力を借りて体を休めることの大切さを本当に感じました。

我が家の場合、夫の育休取得は難しかったものの実家を頼ることができたので里帰り出産を選択しました。産後の女性が誰かに頼れる環境を準備しておくことはとて



写真-1 生後間もない頃の娘

も大事だと実感したので、男性の育休取得や産後ケア施設の利用などがもっと進み、各家庭の状況にあった方法を選択できるようになればいいと思います。

そのような日々で、この頃は正直仕事のことを思い出すことはほとんどなかったと思います。娘に毎日付きっきりで、数か月前とは全く別の世界を生活しているようで不思議な感覚でした。実家から大阪に戻り、家事と育児の毎日にすっかり慣れてきたころ、仕事復帰に向けて保育所を探し始めました。

(2) 保育所探し

保育所について何の知識もなかったので、まずは区役所に申し込みの方法を聞きに行きました。私が住むところでは、認可の保育所に申し込むためには希望する施設を見学しておく必要があったため、複数申し込むことを考えて8か所ほど見学に行きました。何か所も見学に行くのは大変だと思っていたのですが、実際に見に行くとそれぞれの施設の違いを感じ、思っていた雰囲気と違うなということもあったので、結果として沢山見学に行っておいてよかったと思います。ただ、暑い中娘を連れてあちこちに行くのは結構大変だったので、もう少し涼しい時期に始めておくべきだったと思いました。

また、私の希望する施設はどれも募集人数に対して申し込み人数が上回っているような状況だったので、結果通知をドキドキしながら待っていたのですが、なんとか希望の中から預かってもらえるところが決まりました。

一方で、妊娠を機に仕事を続けることが難しくなって退職した友人から「保育所に申し込もうと思ったら同時に仕事も探さないといけなくて、でも子供の預け先が決まっていないと就職活動も難しい」という話も聞いていたので、産後社会復帰したくてもそれ自体が難しい状況があるということも知りました。

(3) 娘の成長

生まれたばかりの頃は小さくてふにゃふにゃで自分じゃ何もできない赤ちゃんだった娘も、首がすわって寝返りができるようになり、ハイハイができるようになったと思ったらあつという間につかまり立ちを始め、1歳の誕生日の前にはよちよちと歩くようになりました。

まだまだ赤ちゃんのような気がしていたのに、どんどんと成長していく娘に少しの寂しさも感じつつ、私も夫も娘の成長に毎日一喜一憂する1年でした。

今1歳半になった娘は、話せる言葉が少しずつ増え段々と意思疎通もできるようになって、興味のあるものを見つけると走って行ったり、全身で泣いたり喜んだり忙しくも楽しそうに毎日を過ごしています。



写真-2 最近の娘（1歳6か月）

4. 仕事復帰から現在

(1) 娘の入園と仕事復帰

毎日一緒だった娘と離れることの寂しさも感じつつ、春になって娘の保育園生活が始まりました。最初はバイバイの時に泣いてしまったり、園のお昼ごはんがなかなか食べれなかったり、色々心配もありました。それでも、慣らし保育が進むにつれて娘も園での生活に少しずつ慣れていき、いよいよ仕事復帰の日が決まりました。

ところが、あと数日で復帰というタイミングで娘が初めての発熱。熱は下がったものの手足に発疹が出て、結果、復帰初日はお休みすることになりました。この時は翌日には出社できたものの、それから今日までの約2カ月、ウイルス性腸炎になったり発熱したり、その度に夫と私と交代で仕事を休んで看病するという状況です。「保育園に行くようになったら度々病気をもらってきて仕事をお休みしてばかりだった」という友人の話も聞いていましたが、まさかここまでとはというのが正直な気持ちです。しばらくはこういう生活が続くんだろうなと覚悟しつつ、今日も元気に過ごしてねと願う毎日です。

(2) 復帰後の仕事について

仕事かというと、今は9時から16時までの時短勤務で働き、仕事内容も、出張などで現地に赴くことが難しい状況なので社内での検討作業や資料作成をメインにさせてもらっています。それでも、限られた勤務時間の中で頼まれた仕事を進められなかったり、急にお休みをいただくことになって作業を変わってもらったり、以前のようにいかないもどかしさも感じています。

産休に入った時もそうでしたが、数カ月前とはまた生活ががらりと変わり、毎日あつという間に時間が過ぎて行くので、この生活に慣れるにはもう少し時間がかかりそうです。

働き方については、制約がある中で私にどういう働き方ができるのか、会社にどうやったら貢献できるのかということを考えながら今後も模索していく必要があるなと思っています。

5. おわりに

個人的な振り返り日記のようになってしまいました。こうやってまとめてみるとこの数年で自分の生活も働き方も大きく変わったなどを改めて感じました。

正直、今はまだ私も新しい生活リズムにいっぱいいっぱいになりがちですが、同じ事務所に勤める働くお母さん達と話してリフレッシュしたり、迎えに行った時の娘のうれしそうな顔に毎日癒してもらったりしながら毎日を過ごしています。

事務所には技術職として働く女性の後輩もいるので、今後私と同じように産休や育休を取得することがあると思いますし、出産や育児以外にも様々な事情で仕事を休んだり働き方を変えざるを得ない方が出てくるかもしれません。その時には、私の経験を活かしながら相談を受けたりサポートしたりすることができたらいいなと思っています。

大好きな野球、語ります！

株式会社 NJS / 広島事務所 古澤千花



1. はじめに

私は2020年の4月、新型コロナウイルスの感染拡大と共に、NJSに新卒で入社し今年で4年目になります。

私が、自信をもって熱く語ることができることの一つが野球です。どれだけ野球が好きかという、就職活動をするとき、会社選びは赴任先にプロ野球の球団があるかどうかで決めていました。また、大学生のときは、野球を観るために東京ドームでアルバイトをしていたくらい野球が大好きです。

私の野球愛をここで語らせていただこうと思います。お付き合いのほどよろしくお祈りします。

2. 野球観戦とビール

私が所属するNJS広島事務所は、マツダスタジアムまで自転車ですぐと、終業後すぐに観戦に行ける好立地にあります。広島の人には野球好きが多いので、事務所内のカープファンと、月に1回程度一緒に観戦に行きます。仕事では直接関わる機会があまりない所員とコミュニケーションをとれる素敵な時間です。

私は、エントリーシートに野球が好きと書いていたこともあってか、私の招待試合としてチケットを用意してくださっていました。残念ながら、コロナの影響でその試合は行くことができませんでしたが、所員の皆さんのお心遣いに嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

カープファンはカンファバットで応援している方が多く、得点が入ったときにはお互いのカンファバットを叩き合って喜びを共有します。今シーズンからは、声出し応援が解禁されたこともあり、席が近い知らない人ともそういったことをしている様子も見られ、活気が戻ってきたなと感じます。ライトスタンドの応援席からもコロナ前と同様、迫力のある声援が復活し、最近やっとマツダスタジアムらしさを感じられるようになりました。

仕事で広島に来る前、東京ドームで観戦する機会が多かったのですが、初めてマツダスタジアムに行ったときは、野球場ならではの雰囲気がとても新鮮でした。なんといっても、外で飲むビールが最高です。野球場で飲むビールは格別だなといつも思っています。

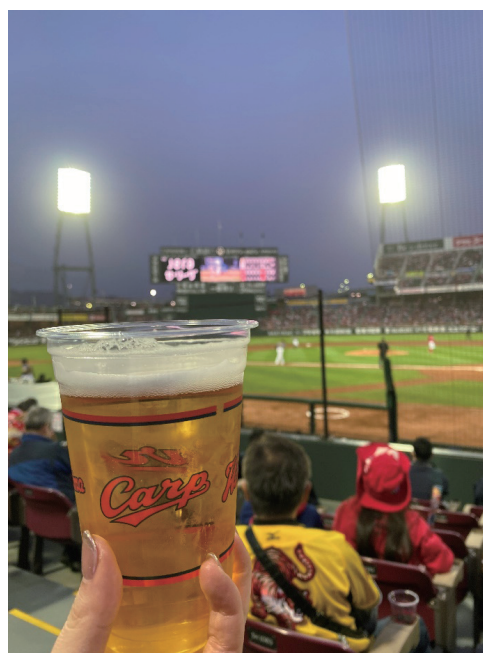


写真-1 マツダスタジアムとビール
(2021年3月30日広島対阪神戦にて)

ここまで読んでいただいたらわかるように、ほぼ中身はおじさんです。そんな私の好きな選手、2名をご紹介します。

3. 私の推し選手

(1) 元祖推し 内海投手

私は、西武ライオンズのファーム投手コーチの内海哲也コーチの大ファンです。どうして好きになったか思い出せないくらい小さいときから大好きで、自由にお金も時間も使えるようになった大学生の時は、内海投手が予告先発で発表されたら、東京ドームへ立ち見で応援に行っていました。それくらい好きだったので、プロテクト外れで移籍が発表されたときはショックが大きく、こんなにも球団に貢献してくれた人を守らなかった球団を信じられなくなり、そのまま内海投手を追っかけて西武ファンになりました。

西武へ移籍直後は、怪我に悩まされ、1年間は一軍での登板機会はありませんでした。

翌年の2020年8月22日に京セラドームで移籍後初、そ



写真-2 内海投手のタペストリーと私
(もちろん内海投手のユニフォームを着用しています。)

して2年ぶりに先登板すると発表があり、これは観に行くしかないと広島から大阪まで駆けつけました。せっかくなので、投球がよく見えるバックネット裏の座席で観戦すると、周りは私と同じ内海投手のファンでいっぱい、とても愛されている選手なんだと改めて実感しました。内海投手がマウンドに上がったとき、感動で、涙腺が崩壊寸前だったのですが、周りを観ると同じようなリアクションをしている人が沢山いたので自分だけではないと安心して号泣しました。

最盛期の時の球速やパワーはあまりありませんでしたが、緩急をつけた投球で3回まで無失点の好投でした。ですが、オリックスのアダム・ジョーンズという外国人選手に4回と6回に二打席連続でHRを打たれてしまい試合としては悔しい結果となりました。ですが、その日に通算1,500奪三振を達成し、その瞬間に立ち会えたことがとても嬉しく、感動しました。

その日以降、中々仕事との都合が付かず現地で内海投手の応援に行くことはできませんでしたが、ニュース等で登板機会があれば確認していました。引退試合に行けなかったことは残念でしたが、投手コーチとして西武に残ってくれたので、ファーム戦等でまた会いに行きたいなと思います。

もし、内海投手に一つお願いできるなら、西武の投手内で髪を伸ばすことが流行っているので、それをやめるように言ってほしいです。

会員寄稿を書いている今はちょうどセバ交流戦の真っ只中で、交流戦の最終カードはマツダスタジアムで西武対広島戦が行われます。もちろん、チケットは入手済みなので全力で西武を応援するつもりです。久しぶりの西武戦の観戦になるので気合を入れて、ユニフォームを新

調しました。家からビジターユニフォーム着て、敵地に乗り込んでいこうと思います。

(2) 現推し 森下投手

広島といえば、超地域密着型球団広島東洋カープですよ！私は内海投手のファンなので2018年まで、巨人を応援していました。当時の巨人は広島相手に全く歯が立たず、苦しい記憶しかありません。真っ赤に染まった東京ドーム、ビジター球場をも揺らすスクワット応援、耳に残るチャンステーマ等々、正直めちゃくちゃトラウマです。こういったことがあり、広島に住むとなったときは、西武ファンを貫き通すぞと心に決めていました。

そんな私ですがカープに一人、気になる選手がいました。その選手は、2019年ドラフト一位入団した森下投手です。実は私は森下投手とは同い年、同じ大学出身で同じタイミングで広島に来ました。同じ大学といってもキャンパスが違うので関わったことはありませんが、大学野球で活躍していることは知っていました。

森下投手は期待通り、1年目から素晴らしい活躍をしていて、森下投手の頑張りによりかなり勇気をもらいました。巨人の戸郷選手と新人賞争いをしていた時はドキドキしながら試合の結果を確認していました。

新人賞の活躍で、広島ではアイドル並みの存在になっています。特に女性からは「森下きゅん」と呼ばれています。最近、森下投手のユニフォームを着て観戦している人がかなり増えました。もちろん森下投手の甘いマスクも素敵ですが、投手としての実力に惚れ惚れします。

森下投手の好きなポイントは、カープのコントロールの良さです。速い球を投げられる投手はもちろんすごいと思いますが、私は、カープを使って抑えられる投手が好きです。森下投手は2ストライクから、カープを投げる時があるのですが、ストライクゾーンのコーナーに綺麗に入って、見逃し三振を取るときは震えます。

さらに、森下投手はバッティングも良くて、野手の調子が悪いときに、自分で投げて打って、実質、森下投手だけで野球が成立しているときがあります。

西武ファンである私ですが、森下投手の活躍と広島に丸3年住んだ愛着で、すっかりカープファンにもなっています。今は、阪神が首位独走状態ですが、必死に食らいついて優勝目指して頑張ってください。

4. 趣味スコアラーのおすすめ試合

球場でアルバイトをしていた経験から、スコアを書くことが趣味です。毎試合とはいきませんが、今でも観戦しながらスコアを書いています。改めてスコアを見返してみると、意外と鮮明に試合を思い出せました。

ここでは、個人的に印象に残っている試合、2021年7月14日 広島対中日戦を紹介したいと思います。



写真-3 森下グッズを身にまとう私
(来年こそは開幕投手になってほしい!)

先発は、広島は森下、中日は柳と大学の先輩後輩対決という、とてもエモーショナルな対戦カードでした。柳投手が大学4年生の時の1年生が森下投手で、寮は同室だったそうです。森下投手の好きなポイントとして、カーブを挙げたのですが、そのカーブの投げ方のコツを伝授したのが、中日の柳投手なのです。

柳投手もとっても素敵な投手で、大学野球をよく応援しに行っていました。今は、先発に専念していますが、大学野球では、完投した翌日に抑えて登板するなど、フル回転で活躍されていました。

話が少しそれてしまいましたが、試合の内容に戻ります。この日はすばらしい投手戦でした。正直、どちらの投手も好きなので、両投手を紫紺の大学タオルを振り回しながら応援しました。

初回は両投手、無失点に抑えます。2回表、森下投手は、1アウト2・3塁のピンチでしたが、空振三振とセンターフライで乗り切ります。対する柳投手は3回表まで5奪三振、出したランナーはフォアボールでの1人のみと、柳投手が若干優勢かなという印象でした。

その均衡を破ったのが4回裏0対0で迎えた、小園選手の2打席目、1アウトランナー無し、初球打ちライト方向へのソロHRで1対0、広島が一歩リードする展開となりました。このHRは小園選手の2021シーズンの第1号HRでした。

その後は、両投手ランナーを出しつつも無失点に抑え、柳投手は7回、森下投手は8回で降板したのち、8回裏、

写真-4 2021/7/14 広島対中日戦スコア
(実際に試合を観ながら書いています。)

広島は貴重な追加点を取ります。

9回表、2対0、ここを守れば広島が勝利という場面で、カーブの守護神、栗林投手が登板します。大島、ビシエド、福留と中日のベテラン勢をピシヤリと三者凡退に抑え、広島が勝利しました。

大学野球では観ることができなかった新旧エースの投げ合いは、まさに名勝負といっても過言ではないと思います。最近では、森下対柳の対戦カードがめぐってきませんが、今後の対戦が楽しみです。

5. おわりに

私の野球愛は皆さんに伝わったでしょうか？かなり、オタク全開の内容でしたが、少しでも、プロ野球の面白さが伝わればいいなと思います。ぜひ、皆さんも球場に足を運んでみてください。

最後になりますが、業務を始め、プライベートでも私の面倒をみて育ててくださった広島事務所の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて、感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。